

九州大学経営協議会議事録

日時：平成20年6月23日（月）13：00～14：40

場所：九州大学 事務局第一会議室

出席者：（略）

【前回議事録の確認】

梶山総長から、前回5月13日開催の議事録について確認があり、今後、ホームページへ掲載し、学内外へ公表する旨の発言があった。

【報告】

1 経営協議会から推薦した総長候補者について

梶山総長から、経営協議会から総長選考会議に対し、以下の2名を総長候補者として推薦した旨報告があった。

有川 九州大学理事

柴田 九州大学理事

（50音順）

2 平成21年度概算要求について

柴田理事及び佐藤財務企画課長から、6月9日付けで書面にて附議していた平成21年度概算要求の概要について報告があった。

次いで、梶山総長から、本件については、6月17日開催の教育研究評議会及び役員会において重点事項の選択及び順位の検討を行い、6月19日付けで文部科学省へ提出した旨の報告があった。

これに対し、各委員から以下のような質問等があった。

- ・中長期的な課題として、我が国の外交政策がアジアからアフリカにシフトし始めており、いち早くこれへの対応を行うべき。
 - 今後、アジア-インド-アフリカへ視野を広げる必要がある。なお、南アフリカ及びスーダンについては、既に協定の締結等を行ったところ。
 - 本学は、JICAが進めているEgypt-Japan大学構想の中心的役割を果たしているところ。
- ・留学生対応として、事務局に留学生を採用することを考えてほしい。
 - 今後とも、就職も含めた留学生へきめ細かな対応を行う予定。

3 目的積立金を活用した事業計画について

柴田理事及び佐藤財務企画課長から、目的積立金の現状と推計について報告があり、また、全学目的積立金を、共同利用施設・設備の整備等や伊都キャンパス・病院再開発整備促進事

業等に活用することを検討している旨の発言があった。

これに対し、各委員から以下のような質問等があった。

- ・施策によっては、年度をまたがるものも多いのではないか。
 - 中期目標期間が一つの区切り。
 - 近年、各種施策における自助努力が求められてきており、これらへの対応も必要。
 - 一方、移転事業に関しては、計画の一部前倒しを行う予定。
- ・保育所の設置は評価すべき取り組みだが、民間の活用を検討すべき。
 - 男女共同参画のための環境整備として、本学の教職員を対象とした学内保育所の設置を民間の活用も視野に入れて検討中。
- ・政府も運営費交付金及び目的積立金制度の趣旨を十分に踏まえ、国立大学法人の一層の自立を促すべき。

4 国立大学法人運営費交付金の配分に関する見直しの方向等について

松元理事から、文部科学省から提示されている第2期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の配分に関する見直しの方向性及び教育振興基本計画（案）の概要について紹介があった。

これに対し、各委員から以下のような意見等があった。

- ・梶山総長の取り組みは評価されていると感じるが、国立大学法人評価委員会及び大学評価・学位授与機構における評価の見通しはどうか。
 - 自己評価をきちんと行った上で、国立大学法人評価委員会等における評価に臨みたい。
- ・「機能別分化」の趣旨はどのようなものか。
 - 世界的な拠点形成を目指す大学、地域における中核的教育拠点を担う大学等、中央教育審議会答申において、大学の7つの機能別分化が例示されている。

【議 題】

1 中期目標期間の業務実績評価に係る報告書等について

企画部次長から、平成19年度及び中期目標期間（平成16～21年度）に係る業務の実績に関する報告書（案）等について説明があり、審議の結果、これを了承した。

これに対し、各委員から以下のような意見等があった。

- ・厳格な自己点検・評価を行い、今後の評価への対応のみならず、学内改革に活用してほしい。

2 平成19事業年度決算書等について

柴田理事、長澤決算課長及び佐藤財務企画課長から、平成19事業年度決算書等の概要について説明があり、審議の結果、これを了承した。また、酒井監事から、平成19年度監査報告書について報告があった。

これに関連し、各委員から以下のような意見等があった。

- ・経営協議会に提出される資料が膨大である。内容が把握できる概要資料さえあれば良い。
- ・後日、関連法人の財務状況についても勉強させていただきたい。
 - 本学から出資している法人は存在しない。

【紹 介】

梶山総長から、6月末で任期満了となる野島委員の紹介があった。

(以 上)